

いろいろ火の里 

みかわ

ざわい

いい町ってどんな町?
新しい防災無線システムで
大規模災害への対応は
初めての議会傍聴
早めの介護申請を
どおするやこれからの三川
笑顔で楽しく Shall We ダンス?

小学生との議場懇談会	P 2~5
6月定例会	P 6~7
一般質問	P 8~14
老人クラブ連合会女性委員	P 15
所管課等研修	P 16~17
議員と語る会	P 18~19
シリーズ⑥「がんばってます」 三川ベリーダンスサークル	P 20

No.166
6月議会
2024.
7.15



「よい町づくり」は?

学校の6年生68人と議員との懇談会が開催されました。
今年は6年生全員が参加して意見交換が行われました。

「自転車用道路を作って」

自転車の人がもっと乗りやすく安全な道路があったらもっと自転車で乗る人が増えると思うし、子どもたちも安心して乗れるのではないかと考えました。

議員：自転車専用道路を整備している他の自治体がありますが、三川町では歩道と合わせて自転車も通れる道路整備が有効ではないかと考えています。

「通学路や子どもたちが歩く道の安全を確認して」

用水路に落ちる危険のあるところが通学路になっているところもあるので落ちないように柵を作ってもらいたいです。

議員：通学路における危険箇所については事前に調査し、対応していると思います。危ないと感じる箇所については友達どうし共有をしつつ学校や議会に伝えてください。

子育てしやすいように

「公園や子育て支援の施設を増やして」

公園での事故や事件が無いように防犯カメラなどをつけて安全性を高めていくことが必要だと考えました。

議員：三川町でも少子化が進んでいることから、安心安全を感じられる町づくりは重要です。公園や通学路での防犯カメラの設置については私も町へ要望していきます。



みんなを考える「よ

6月18日三川町議会議場にて横山、東郷、押切小学
昨年までは各小学校の代表者数人との懇談でしたが、

「差別やいじめのない町になって」

少しでも暖かい気持ちになったり、気持ちがゆったりとするように、町の中にいろんな季節の花を植えたいと考えました。小学生が地域にも向き、地域の人たちと一緒に植えることで地域の人との交流にもなり、自然を大切にしていけると考えました。

議員…差別やいじめは絶対にあってはならない事です。様々な人とつながる中で、地域の人と植物の成長を見守る事は、季節の変化を感じ、自然の大切さを学ぶ事ができると思います。みなさんも自身の成長を感じることが出来る素敵な事だと思います。

「地域でとれた食品を大切に」

地産地消にもつながっていくと考えられるし、地域の人とのつながりも出てくると考えられるからです。

議員…学校給食にも三川でとれた食材が使われていますので、たくさん食べて下さい。一生懸命作ってくれた農家の方々の励みになると思いますし、地域の食材を守っていくことにつながると 생각합니다。

「リモートでもつながる町に」

どの家庭にもタブレットを配ることで、みんながつながることができると考えます。お年寄りで機械の操作が苦手な人もいるかもしれませんが、でも、私たちが教えに行くと、もっとみんながつながることになると思います。また、実際に会えない時でも、タブレットでつながることで、心の安心が図られると考えます。

議員…生活していくには人と人がつながるシステムが必要だと思います。その一役を担うタブレットの全戸配布は大賛成です。

「たくさんの方が集えるような、三川町の良さがわかる場所を」

公園の遊具を増やしたり、マイデルで売るものをもっとPRしたりすることで、三川町に行くことこんな楽しい遊具がある「三川町に行かなければ買えないものがある」というようになっていったらいいと考えます。「三川ブランドを積極的にPRする」(PRは私たち小学生も協力できます)「オンラインワン」の場所があったらいいと思います。

議員…三川町にしかないような場所づくりは必要だと思います。三川ブランドのPRに協力できるとの事で、大変頼もしく感じます。みなさんと一緒に三川町の良い所を作って行ければと思います。



「菜の花まつりで」

菜の花を使った料理をだしたい

菜の花まつりをとても楽しみにしていますが、町の花である菜の花を使った料理がないので、菜の花を使った料理を出して、もっと菜の花まつりを盛り上げたい。

議員…自分たちで参加して盛り上げたいという考えは素晴らしいと思います。課題もあるかと思いますが、前向きに進めてもらえたら菜の花まつりも盛り上がると思います。

「両田川橋の通路を広くしてほしい」

両田川橋の道路が狭く、歩行者や自転車に乗っている人と車の距離が近く危ないと思います。

議員…60年以上架かっている橋で狭い橋です。町では橋の架け替えを県へ要望してきました。先日、県の道路中期計画が示され、架け替えの調査を行う対象の橋に選定されました。架け替えの実現に向けみなさんとともにがんばって行ければと思います。



「三川通信を発信したい」

身近な生活のいい話題などを、タブレットを使って町に集め、それを街角通信のように発信したらいいと考えます。例えば私たちも記者になって記事を提供することもできると思います。「三川通信」は、小中学生も作成できるのでも、やってみたいです。

議員：みなさんの視点での「三川通信」はぜひ見てみたいです。学校だよりや議会、町の広報誌やホームページにコーナーとして載せることも提案してみたいでしょうか。

「あいさつの標語を三川町の合言葉に」

三川町全体であいさつを広め、人と人との絆を深めるために、三川町のあいさつの合言葉を考えるので（募集して）ポスターを貼らせてほしいです。（募集

議員：あいさつを通して町民どうしが生きいきとする姿を想像するだけでも楽しいですね。地域の公民館やテオトル、公園などの人が集まる場所にみなさんが書いたポスターなどが貼られ、それを見た人から関心を持ってもらえれば素晴らしいと思います。



横山小学校

遠田 翼紗さん

今日は三つの学校が集まる議会に行ってきました。横山小のテーマは「安心安全に暮らせる町」です。議会の場に入った時すごく緊張しました。発表する順番は横山、東郷、押切です。押切小の案で、菜の花まつりのイベントを増やしてほしいという案があつていいなと思いました。今回はみんなの前で発表しなかつたけど次、機会があつたら自分から手を挙げて、発表したいと思います。

押切小学校

高橋 慧悟さん

ぼくは、議場懇談会を通して、今のぼくたちの生活は、たくさんの人に支えられているということがわかりました。ぼくは、菜の花まつりで菜の花料理を出すことを提案しました。議員の方から、ぼくの意見に真剣に答えていただき、うれしかったです。

これからも三川町が明るく協力し合う町になるために、みんなで三川町の未来を考えていきたいと思っています。

児童の感想

東郷小学校

中村 あさひさん

よりよい三川町にいくために、どの学校も真剣に考えて提案していた。それに対して、議員さん達が、実現の方向で答えてくださったことにとっても感謝している。

改めて、どの世代もおたがいを尊重し合い、一人ひとりのつながりを大切にする三川町であつてほしいと強く思った。私達も三川町のために、今まで大切にしてきたことと議員さんからお話しいただいたことを全うしたい。

議員の感想

副議長 町野 昌弘

人口減少問題については、「安心して住みたくなる町が人口増加につながるのではないか」や、「自分たちでも町のためにいろいろ出来るのではないか」といった前向きで貴重な意見が聞けて今後の活動に活かしていければと思います。本日は三川町議会に全員出席して頂きありがとうございました。

システムで!

第3回議会定例会は6月4日から7日までの会期で開催しました。諸般報告4件の後、令和5年度補正予算の専決処分2件と条例改正の専決処分2件が上程され、4件承認されました。その後、町長提案の令和6年度補正予算2件、条例改正2件、事件案件1件が上程され、原案どおり可決しました。一般質問は、6人の議員が町政全般について質問しました。

令和6年度三川町一般会計補正予算

主な質疑

問 地域防災事業の工事内容は。

総務課長 現在、役場にある防災行政無線の操作卓一式を更新するものです。鶴岡の消防本部からの緊急時に連絡を受けた職員がその文字情報を機械に送り、自動音声で放送するシステムを考えています。



防災行政無線卓

問 元気な地域農業担い手育成支援事業の内容は。

産業振興課長 機械導入の補助事業で、当初予定していた事業が県から採択の見込みが無いとされ、新たな事業を追加したものです。申し込みは現時点で1件ですが、今後も農業者に寄り添った形で希望調査をしていきます。

条例

三川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

問 利用申込者の選択に資する事項をインターネットに掲示する内容は。

子育て支援室長 現在も保育園・認定こども園にはそれぞれホームページがあり、入園にあたっての重要事項が掲示されていますが、それをインターネットにも掲示出来るよう条例に明記した内容です。

問 電子媒体はどうなりますか。

子育て支援室長 現在「CD-ROM」となっていますが、改正では何でも良いとしています。

問 個人保護の観点で問題は無いのか。

子育て支援室長 入園の際、同意書を頂きその範囲内での活用なので問題はありません。



みかわ保育園 水遊び

三川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

問 現在の三川町の保育士配置状況は。

子育て支援室長 現在三川町には家庭的保育事業所と小規模保育所はありません。

みかわ保育園・幼稚園は担任、副担任制をとっており、現在4・5歳児54人に6人、3歳児28人に3人の保育士を配置しています。また、「いこの保育園」や「りっしよ子ども園」も担任が1人とすることはありませんが、それ以上の配置をしています。



新しい防災無線



問 新型コロナウイルス 予防接種対策事業費の今年の内容は。

健康福祉課長 今年度は65歳以上の方を対象に定期予防接種として年1回接種する事となり、県市町村と県医師会が契約を結び、個人の判断で県内の指定医療機関で接種出来るようにするものです。接種料金は1回1万6千円であり、国から8300円補助され、町がそれに上乗せ補助するものです。

個人負担は課税世帯で一人4200円、非課税世帯で一人3200円となります。

問 物価高騰対応重点支援金調整給付金の内容は。

町民課長 令和6年1月1日現在、三川町から住民税所得割が課税されている方で、合計所得金額が1805万円を超えない方で定額減税しきれない方に差額を1万円単位で支給するものです。

対象者の抽出方法は、国の算定ツールに本町の税情報を入れ決めます。給付時期は7月上旬に対象者に郵送で知らせ、希望の申請を受けて8月には支給できるものと考えています。

読者の窓



岡部喜紀さん
(横山中)

1. 議会広報のよく読むページや気になる取り組みはありますか？

町内や子ども達の活動の紹介などがあれば読んでいます。

2. より読みやすい、手に取りやすい広報誌にするには、どのような取り組みが良いかアドバイスをお聞かせください。

今のままで読みやすいと思います。

3. 議会や町への要望等あればお聞かせください。

若い年代が子育てしやすい町づくりをお願いしたいです。

消防積載車・小型動力ポンプ購入契約

- 名称**
消防積載車・小型動力ポンプ購入
- 契約の方法**
指名競争入札による契約
- 契約金額**
9,889,000円
- 契約の相手方**
事業所所在地
山形県鶴岡市美原町17番32号
商号又は名称
株式会社大滝商会
代表者指名
代表取締役 山口 毅



三川町税条例等の一部を改正する条例の設定について専決処分の承認について

問 定額減税されない低額所得者への対応は。

町民課長 定額減税で減税しきれない低額所得者へは国からの調整給付金で対応されます。

町政を問う

6月定例会

一般質問



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6月6日と7日に6人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (9ページ)

- 庄内たがわ農協の園芸販売高からみた今後の園芸振興策について
- 町外に流出する農地について

佐久間 千佳 議員 (10ページ)

- 防災対策は
- 健康・生きがいづくりは

砂田 茂 議員 (11ページ)

- 人口減少対策について

鈴木 重行 議員 (12ページ)

- みかわ産業団地拡張に伴う交通環境の変化と周辺道路の整備計画について
- 中高生の通学支援を
- 防犯カメラの設置で安全対策を

鈴木 淳士 議員 (13ページ)

- 町の財政事情と「子育て支援の町」は
- 高齢者保健事業と介護サービス事業の適正化を

町野 昌弘 議員 (14ページ)

- 赤川河川緑地ふれあい広場(パーク赤川)の活用について
- 日本の通貨価値の変化による本町の産業への影響と対応について
- 町の将来人口について

(8) 14ページまとめ 鈴木 淳士

今後の園芸振興策について

町長 農業収入の増加を念頭に



おの でら まさき
小野寺 正樹 議員

問 生産者の後継者不足、高齢化、肥料・資材の高騰、個人の水田面積拡大等により園芸作物の生産量が減少している現状が見受けられますが、今後の園芸振興策は。

町長 園芸作物については、施設野菜、路地野菜ともに市場価格の変動に大きく影響されることや、消費者の嗜好の多様化による要求品目の変化が激しいことから、



高齢者でも栽培しやすいパプリカ

産地形成までには至っていない状況にあります。近年の米価の低迷を受け、農家経営の見直しに不安が広がっていることもあり、新たな農業収入を得るための園芸作物の振興が、これまで以上に強く求められています。本町においては、生産者や生産団体の要望を受け取り組んでいる「園芸等生産向上推進事業」等により、生産基盤の整備を推進するための機械の導入や園芸用ハウスの整備に対し支援を実施しています。

問 重点作物、選定作物の見直しは。

町長 毎年、三川町地域水田農業ビジョンにおいて選定作物の見直しを行っています。今後も農業収入の増加を念頭に、JAや県農業技術普及課等関係機関・団体と連携し、園芸作物の生産振興に向けた各種施策の充実、強化と時代にあった作物の選定に取り

組んでいきます。

町外に流出する農地について

問 個人、集落営農の限界により離農する生産者が増える一方、三川の農地に着目している町外の農業法人が増えています。集落維持、環境維持の面からも不安要素は尽きません。農地の受け皿として早急に農業法人化を推進すべきでは。

町長 町外からの入り作の農業法人等も増加してきている状況と

なっており、今後は、町内外問わず集落営農や農業法人に対する期待は大きくなっていくものと認識しています。本町においては、現在、集落営農組織を含め農業法人が9組織ありますが、法人化の推進については、農業者個々の判断において進めるべきと考えており、随時、必要な情報提供を行ってまいります。



町外からの入り作が増える農地

大規模災害への対応は

町長 訓練や研修が重要



さくま ちよし 議員
佐久間 千佳

問 頻発する自然災害の教訓をもとに常に防災力の向上を図る必要があります。

大規模災害発生時における行政による初動体制の迅速さが重要になる中の課題は。

町長 大規模な災害発生直後の初動期といわれる発災後おおむね48時間から72時間までは、住民も混乱し、物資調達などもとより、職員の迅速な登庁や職員配置も道路や交通事情等により困難

な状況です。防災力の向上が期待される自主防災組織に対しては、訓練の支援とともに、防災人材の育成につながる研修会等への参加を促し、その機能維持・強化に各町内会と連携し取り組んでいます。

を極めると想定されることから、早期の災害対策本部の設置による初動体制の確保は課題となっています。

問 初動対応の実効性は。

町長 初動対応の実効性を高めるため、災害対応に専念できるように日頃からの備えに努めるとともに、職員の防災力が高まるよう訓練や研修を充実させることが重要だと考えます。

問 自主防災組織との連携、機能維持・強化は。

町長 避難行動等の実効性の向上が期待される自主防災組織に対しては、訓練の支援とともに、防災人材の育成につながる研修会等への参加を促し、その機能維持・強化に各町内会と連携し取り組んでいます。

問 機能別消防団員の連携、充実は。

町長 機能別消防団員には報酬が支払われ



運転技術の確認は頻繁に

るものの、訓練や消防行事への参加も伴うことから、なり手が少ない状況にあります。消防団協力員の増員に努めながら、平日の消火活動等への協力のほか、大規模災害時には自主防災組織との連携による救助や避難活動の応援体制の強化を図っていきます。

いつまでも安全運転で

問 高齢者においても車の運転は社会参加を促す上でも重要です。本人も家族も安心して安全運転が続けられるよう、運転免許の更新時以外での高齢者講習等の受講に対する支援は。

町長 70歳以上の高齢者については、免許更新時に高齢者講習の受講が法律で義務付けられており、一定の講習の機会があることから、これ以外の講習を受講する意識はあまり高くないと捉えています。

令和6年7月15日 第166号

消滅可能性自治体とは

町長 過度に反応すべきでない



すなだ 砂田 しいげら 茂 議員



「消滅可能性自治体□」の割合が高い山形県

問 民間の有識者会議「人口戦略会議」が公表した「消滅可能性自治体」リストの受け止めは。

町長 「人口戦略会議」は、国の人口減少が続く中で2100年を見据えた人口ビジョンを国に提言している組織と認識しています。その一環として、2050年の地方自治体別の人口推計を作成したもの

と捉えています。**問** 10年前に別の民間組織「日本創生会議」が発表したリストから、三川町は脱却したと報じられましたが、この脱却をどう捉えていますか。**町長** 本町は「消滅可能性から脱却」と分類されていますが、町の人口は年々減少している状況にあります。将来的な人口減少に対する危機感は変わりありません。**問** 「人口戦略会議」が「消滅の可能性がある」とみなしたのは、2020年～2050年の30年間で子どもを産む中心世代の20代～30代女性数が半数以下になるとの推計が根拠とも言っていますが、このことへの見解は。**町長** 人口推計の具体的な算出方法は示されていませんが、これまでの人口減少における自然増減や社会的移動を加味した数値となっております。

特に20歳～39歳の女性人口を基に自治体として「消滅の可能性があるか」を分類したものです。「消滅可能性」という言葉は非常にインパクトを与えますが、あくまでも若い年代の女性という1要素を基にした推計値であり過度に反応するべきではないと考えています。

人口維持策を

問 本町でも、いかに人口を維持できるかが重要な課題となっております。これまでの取り組みと、これからの考えは。**町長** 人口増加策として各分野で多くの施策を展開してきたことが、今回の人口推計に反映されたと思っております。また、今回の公表数値では、自治体の現状の人口特性を基にした将来の推計動向が9つに分類され、人口推移の特性が可視化されていますので施策展開の参考にしていきます。



子育てしやすい施策を

両田川橋の架け替え促進を

町長 架け替え調査の対象に



早期の架け替えが望まれる両田川橋



鈴木 重行 議員

問 両田川橋の現状についての認識は。

町長 架橋後60年余りが経過するなかで、庄内空港や大型商業施設へのアクセス機能も付加され、本町のみならず庄内・最上における広域的

な道路ネットワークにおいても重要な橋梁として位置付けられています。

問 交通量の増加や車両の大型化、重大事故も発生していることから架け替えが望まれています。計画は。

町長 この度、山形県が公表した山形県道路中期計画2028改訂版において、両田川橋の架け替えが代表箇所として位置付けられ、今後5年間で架け替えに向けた調査に着手する計画となりました。

今後は事業化の実現に向け、県への要望活動とともに、町民の機運醸成にも取り組むたいと考えています。

問 産業団地拡張後の交通量の想定は。

町長 現段階においては進出企業の業種や従業員数など不確定な状況です。

土地開発公社から示された開発計画では、接道となる町道も主要道路へのアクセスが良好であることから、拡張に伴い増加する交通量にも対応できると考えています。

問 三川バイパスの4車線化の計画は。



貴重な通学手段となる路線バス

町長 現在の2車線区間は暫定供用となっており、計画では全線4車線となっています。

町ではこれまでも庄内開発協議会や酒田河川国道事務所との事業調整会

中高生への通学支援を

問 町外の学校への通学費が家計の負担となっています。鶴岡市のような通学支援を行うべきでは。

町長 本町では、これまでで交通弱者対策として、町立保育園幼稚

園の送迎バスや、小学校スクールバス、中学校冬季バス支援などの事業を実施してきましたが、高校生を対象とした支援策については近隣市町の動向にも留意しながら対応を検討します。

小・中・高の入学祝金給付制度を

町長 財政計画を考慮し慎重に検討したい



すずき じゅんし
鈴木 淳士 議員

問 宅地分譲する今こそ小学校3万円、中学校5万円、高校10万円の「入学祝金」(年間約1800万円)を新たな支援策として実施しては。

町長 これまでも国や県に先んじて施策展開して来ましたが、テオトル等の整備費の借金で、ある起債償還もあり、町の財政計画に基づきながら、今後の状況により判断しなければならぬと考えています。



「入学祝金支給」の早期実施を…

基本は身近な町内会への「通いの場」づくり

問 「コムコムメイト」への委託事業として「通所型B・よれちや家」を開催していますが、「通所型Bは、住民の主体的な活動を行政が補助で支援するもの」という「さわやか福祉財団」の回答もあり、予算の適正執行を監督する立場の町当局による業務委託ではなく事業費補助が適切なのでは。

健康福祉課長 国の制度では原則「補助」ですが「委託」も可能と、県当局から確認しました。

問 住民の主体的活動としては、「よれちや家」に参加できない方々への対策も必要はなはずであり、「ここにコミュニティ」との委託協議の頃には保健事業と介護予防の一体的実施が求められていたことから、「通所型B・よれちや家」の新

設より、各町内会での百歳体操等「通いの場」の拡充を検討すべきだったのでは。

健康福祉課長 国から示された保健・介護の一体的実施は今年度から開始しますが、これまでも、介護予防事業の中で健康教

室などを実施していますので、なお一層の拡充を図ります。

問 介護保険料削減を求めるマスコミ報道もあることから、介護予防事業のあり方をどう思われるか。

町長 国の制度も理解し、かつ、各地域の実情と課題を考慮した対策が肝要と認識しています。

目指すべき仕組みと効果・成果

サービスB (通所)

高齢者を中心にしながらも、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが「行きたいときに行くことができ、帰りたいときに帰れる」「何をしても自由でやりたいことが実現できる」居場所にして行くことが、地域での多様なつながりを生み、共感が生まれ、気になる関係から助け合う関係に発展していく。受け身体をつくらない、主体的な参加は「楽しい」場となり、**結果、介護予防をはじめとしたさまざまな効果が生まれる。**それは**地域共生社会**につながる場となる。

サービスB (通所・訪問)

令和4年度 地域づくり加速化事業 (全国研修)

公益財団法人さわやか福祉財団
理事 鶴山芳子

厚生労働省所管全国研修資料より

パルク赤川のトイレにスロープ設置を

町長 利用者の声を参考に



町の まさひろ
町野 昌弘 議員

問 パルク赤川の移動式トイレが使いにくいとの声がありますが、町の見解は。

町長 令和5年度には洋式の簡易水洗トイレを1基追加し、そこに

は段差対策として可搬式の手摺りを設置するなど、利便性の向上に努めています。

問 可搬式の手摺りでは危ないので、移動式のスロープを設置しては



危ないとの声がある手摺

建設環境課長 今後検討していきます。

問 パルク赤川の利用実績と今後の活用は。

町長 「かまど」の利用については、令和4年度13件、令和5年度22件です。それ以外にキャンプやバーベキューを楽しむなど、町内外の方々から自由に利用して頂いています。

また、社会教育事業においては「ぎっこしめ」や「赤川ウオークラリー」の会場としても利用しており、今後も各種団体等から利用して頂けるよう努めていきます。

問 この公園をつくるための「川と親しむ」ことにあると思いますが、その利用者の状況は。

建設環境課長 川に対する年代による考えの違いもあり、川と親しむ利用はされていないと思います。今後は川と親しむ政策を町として知恵を出して



川と親しむ「かわまち大賞」(信濃川)

いかなければならないと考えています。

問 本町でも国土交通省で行なっている「かわまち大賞」を目指しては。

町長 この賞は国が目指す「かわまちづく

り」の理想形を具体化した高度な取り組みであると認識しているところであり、本町としては賞にこだわらず町内外の方々から親しまれる広場として利用の促進に努めていく考えです。

本町産業に及ぼす円安の影響は

問 日本通貨の急激な変化による本町の農業・工業に及ぼす影響と町の対応は。

町長 本町においては輸出より輸入する事

業者が多いと思われる、円安のデメリットの部分が大きいと認識しています。事業者支援については、同等の動向を注視していきます。

初めての
議会傍聴

テレビで観ている 国会中継みたい



老人クラブ連合会女性委員 34 人が 6 月 6 日に議場を訪れ、災害時の初動体制整備や、高齢者の安全運転策についての一般質問を傍聴しました。

傍聴の皆様からご協力いただいたアンケート調査の主な内容（複数回答）

● 議会を傍聴してどのように感じましたか

- ・ 町のことが良く分かった ……18人
- ・ おもしろい、議会に興味を持った ……14人
- ・ 議論している内容が難しい、よくわからなかった …… 4人

● どんなことを議論してほしいと思いますか

- ・ 福祉について ……17人
- ・ 空き家や環境について ……15人
- ・ 防災について ……14人
- ・ 道路や除雪について ……13人
- ・ 子育て、教育について …… 3人
- ・ 農業や商業について …… 3人



議会または町に対する意見や要望など

- 年齢的にも免許返納が近いうちに来ます、その場合医院等に通院するのに不安です。町のデマンドタクシーを町外利用出来るようにして欲しい。今のままでは免許の返納は出来ない。
- 空き家が増え続け、建物の崩壊が心配です。庭木の管理など環境整備を整えて欲しい。
- 町道（上町）、バス停（三本木）の前の枝がはり出ている所があるので切って頂きたい。
- 老人世帯の為、家の前に雪を寄せられて困っています。対策を考えて下さい。
- すべての物価が上がり生活が大変厳しい、今以上の支援策を議論して欲しい。
- 女性の管理職を増やしていくことが女性の働きやすい職場になるのでは。三川町として、女性議員が立候補しやすい体制を考えるべきでは。
- イオン内の空き店舗が見受けられます。三川町として空き店舗の利用を考えては。

～・～・感想・～・～

- 初めて傍聴させていただきありがとうございました。今後、広報等を通して今まで以上に興味を持って読みたいと思いました。
- 質疑応答が無駄のない時間でした。
- 町側より、はっきりした回答が出なかったのは残念でした。
- 一部の傍聴だけでしたが、1つ1つ丁寧に議論しているのに初めて気が付きました。大変ありがたかったです。



その他、多くのご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

寿命の延伸を



5月14日、6月21日、企画調整課・総務課・町民課・会計課及び教育委員会・子育て支援室より各テーマによる町の計画・課題等について説明を受けました。

総務文教常任委員会

メタバースで 新たな出会いを

企画調整課

庄内地域全体で結婚に対する若い男女が参加しやすい出会いの場としてのデジタル婚活イベント「メタバース婚活」に加えて、マッチングシステム「Aiナビやまがた」の説明と町独自の婚活策を考える必要性について意見が交わされました。

また、高齢者からの利用が多いデマンドタクシーでは、町外の医療機関までの利用要望に対して具体的な解決策はないのかなどの意見が出されました。



メタバース婚活



袖東公園の防犯カメラ

子どもへの 犯罪防止策は

総務課

子どもへの犯罪防止策では、防犯カメラの設置や防犯パトロールなどの必要性について意見が出されました。

防災対策では、町内会の避難訓練を継続するための具対策、自主防災と消防団員の役割分担を明確にすべきではないか、消防団員の確保については、班構成の見直しも含め改善することが必要ではないかとの意見も出されました。

変わる健康保険証

町民課・会計課

マイナンバーカードと保健証が紐づけになる事については、七月に発行される保険証は一年間有効であり更新時期まで使える。カードを持たない人には確認証を発行して対応することや今後、更新等で窓口業務が増える事を想定しイオンの郵便局でも手続きが行えるように進めているなどの説明がありました。

また、定額減税に関する具体的対応状況、町税の収納率向上対策についても活発な意見が交わされました。



児童の減少対策は

教育委員会・子育て支援室

児童数の減少傾向に対しては、学びの環境を最優先しながらもすべての段階で準備する時期に来ている。

子育てには学校だけでなく家庭や地域の協力も得ながら進め、良好な人間関係を築くことが大切ではなどの意見が交わされました。

ほかにも、GIGAスクールの運営に関する課題と今後の見通しや、「三川町スポーツ文化振興協議会」による中学校部活動の地域移行状況などについても意見交換されました。



熱心な説明を受けた

早めの介護申請で健康

5月15日、6月20日、健康福祉課・建設環境課・産業振興課・農業委員会より
各テーマによる町の計画・課題等について説明を受けました。



健康講話に参加する元気な高齢者

早めの 介護保険申請を

健康福祉課

本町の高齢者は80歳ころまでは自立し元気な方が多い。

その一方で、介護保険申請時には要介護1以上となつていの方々が7割を超えていることや、75歳以上の単身高齢者割合も増加していることなどの説明がありました。

また、通所型サービスBの補助金の考え方や百歳体操の参加率向上策、歯周病予防対策などについても意見が交わされました。

産業建設厚生常任委員会



押切地区から見た両田川橋

架け替えに 一歩前進

建設環境課

長年の懸案だった両田川橋の架け替えは、今後5年間で調査に着手することになり、県から具体的なスケジュールはまだ示されていないが、架け替えの候補が上がったことは県北部の道路ネットワークに大きな意味をもつものとの説明がありました。また、今年度から行われた「地方公営企業会計」の貸借対照表の考え方や、損益勘定留保資金の概念などについて熱心な意見が交わされました。

担い手確保は

産業振興課・農業委員会

本町基幹産業の農業では、農業者の減少や、農地を守っていけなくなるという課題にどう取り組むのか、「担い手の確保と支援策」及び「地域計画」などについて意見が交わされました。

ふるさと応援寄附金事業では、寄附単価が安価で内容量が多い普段使いの返礼品が人気傾向にあること、「ふるさと納税」のワンストップ申請、ポータルサイトでの業務体制についてなど多岐にわたって意見が交わされました。



担い手確保策が急務
(三川町の水田風景)

退職議員等研修会



6月14日に退職議員等と国道47号高屋道路トンネル工事の施工状況を視察して来ました。

このトンネルは「新庄酒田道路(延長50km)」の一部を形成し、一般国道47号の降雨による通行止(規制区間8キロ)の解消と交通安全対策、東北中央自動車道と一体となった高速交通網の確立、及び最上地方の緊急輸送ネットワークの確保等、地域活性化を図るための社会基盤として期待されている道路です。

戸沢村古口地内にあるトンネルでは位置的に陸羽西線との隣接する区間、多様な岩盤の変化、湧水などの影響のため完成が遅れている現状にあります。安全を優先し、一刻も早く開通することが求められています。

議員と語る会 開催

6月13日テオトルにおいて、議員と語る会を開催しました。議員から今年度予算の内容・子育て支援策・議員の定数や報酬について説明した後、懇談が行われました。参加者からは、様々な意見が出され、有意義な会となりました。



子育てに関する情報発信をもっと積極的にプッシュ型で周知すべきでは。
(議員の説明の中に知らなかった情報あった。知らない保護者も多いのでは。)



学童保育の整備は重要で、働きながらの子育て環境を整備することで結婚・妊娠・出産が可能であることを実感する方も多いのでは。



子どもは体調を崩す機会も多く、働く保護者にとっては十分な看病できる時間をとるのが難しい。働きながら子どもの看病ができる環境整備を行うべきでは。



子育てしやすいまちづくりについて



庄内で出産できるクリニックが減少していて、出産費用も高い印象です。特に若い世代は所得も少なく負担が大きいと思うので、健診費用の全額補助などほかの町にはない一歩進んだ支援を行っては。



若い世代には、三川町は子育て支援が充実した町との認識が高い。今後もさらに充実させて若い世代の定住に繋げてほしい。



～ どのするや これからの三川 ～

三川町議会では YouTube 等で動画配信しないの？

平日日中は傍聴も難しい。関心のあるテーマはどんな議論が行われているか動画で見たい。



議員：議場の設備が動画配信に対応していません。また、議員及び当局の合意が必要となるため、現在は音声発信のみとしています。

一般質問では、もっと突っ込んだ質問・答弁があれば関心が高まるのでは。

(議会で一般質問するのに1ヶ月前から準備している議員もいると聞き、感心した。)



議員のなり手について



議員のなり手については、やはり報酬が低い。仕事を辞めて議員になっても大変だと感じる。



議員への関心が減少しているように感じます。来年、選挙らしいがどうなるか。



その他 全般

従来の紙の保険証は12月で無くなるのか。

マイナンバーカードがないと自由診療となり治療費が全額自己負担になると聞いて不安を感じています。



議員：マイナンバーカードを取得されていない場合は、被保険者資格の情報などを記載した「資格確認書」が無償交付される予定です。これを提示すれば一定の窓口負担で医療を受けることができます。



町の公式LINEで開催を知って参加しました。もっと積極的に町の情報発信

をLINE等で行ったら、町民の関心が高くなるのでは。



懇談を終えて 町野 昌弘 副議長

お忙しい中、町内外から出席いただき、ありがたく思いました。本町でも少子高齢化・人口減少・議員の処遇など課題も大きくなっていることから、懇談で伺った貴重な意見を、今後の議会活動に活かしたいと考えています。

がんばってます

三川ベリーダンスサークル

「笑顔で楽しく Shall We ダンス」



三川ベリーダンスサークルは町民講座を受講した生徒とサークル活動を知り参加してくれた30代〜60代のメンバー10人で、全員始めて1年足らずの初心者です。講師は

ニケラベリーダンスカンパニー主宰の Safinah (サフィナ) 先生で、月に2回の活動です。レッスンが楽しく、町民講座だけで解散してしまうのは残念だったので、サー

クル活動したいですとの声かけに快く応じてくださり、始まりました。毎回のレッスンは笑顔と笑いが絶えません。

準備体操のストレッチからお互いに痛みを堪えた顔を見合わせて笑い、前日より身体が動くようになれば褒めて笑顔に。ベリーダンスは古代エジプト発祥で世界最古の踊りと言われていて、子孫繁栄と豊穡を願う女性が女性のために踊ったダンスで、ベリーはお腹を意味するそうです。ドラマでも題材になり、ベリーダンスを見たことがある方もいると思います。が、私たちの踊りはまだまだ初歩の初歩で、振り付け

心も体もリフレッシュ



に合わせて動くのが一杯で妖艶さのカケラもございませぬ(笑) ヒップスカーフを巻いて必死になつて踊り、そんな自分たちにまた笑いが巻き起こります。仲間に出会って、楽しい時間を共有しリフレッシュできるサークル活動です。興味のある方は是非一緒に踊りましょう。

三川ベリーダンスサークル
代表 遠藤靖子



表紙の写真

「みかわ幼稚園 プール開き」
(写真) 町野 昌弘

編集室

七夕になると子どもたちが短冊を作り、共に願い事を書いていた記憶が蘇ります。子どもたちも成人し、いつの間にか七夕の飾り付けもやめてしまいました。が、今、願い事を書くとしたら世界平和が一番に頭を浮かびます。世界中の子どもたちが笑って過ごせる日々が訪れ、一日も早く平和な日々に戻る事を願わずにはいられません。

広報委員会では、広報誌にいかに関心を持ってもらえるか、マンネリ化しないよう、日々新しい企画にもチャレンジしていきます。と考えると、

今後も、町民の声が聞こえる紙面づくりに心掛けます。

小野寺 正樹

発行責任者
議会議長 志田 徳久
編集 広報常任委員会
委員長 佐久間千佳
副委員長 町野 昌弘

委員 鈴木 重行
委員 鈴木 淳士
委員 砂田 茂
委員 小野寺正樹